

「活躍する地域の代協」

都道府県代協レポートリレー

第80回

山梨代協

業界発展のために様々な関係機関と連携

■山梨代協の取組み

山梨代協では、総会・賀詞交歓会等で代理店向けのセミナーを開催しています。5月の総会では、日本代協金澤亨事務理事に「変革の最前線―制度改正から読み解く代理店の生存戦略」と題して講演していただきました。

講演では「従来の規模拡大重視から業務品質重視に変化している中、代理店に対する直接的な規制強化は限定的な一方で、業務品質評価制度や自己点検の本格運用が始まり、全ての代理店が自らの業務のあり方を見直すことが求められている」「自己点検は単なる形式的なチェックではなく、16年の法改正時点で求められていた体制整備の実践であり、改めてその本質的な意味が問われる取組みだ」

一代理店が販売主体からリスクと安心を支える専門家へと進化することが求められており、自らを磨き続ける代理店が地域から選ばれる時代になった。また、今までのように、代理店経営者は募集人としての役割と経営者としての役割を同時に担う難しさを抱えていることから、数値目標の伝え方と顧客本位のバランスと実践が大きな課題となる」「今後も代理店が必要とされる存在であり続けるためには、顧客との関係を深化させ、信頼される専門家であり続ける努力が不可欠だ。AIの普及など環境変化はあるものの、顧客に寄り添い、最適な選択を支援するという役割は今後も変わらない。これからの代理店に求められるのは、制度の対応にとどまらず、顧客本位を軸とした価値創出と組織文化の確立であり、その実践の積み重ねこそが長期的な成長と信頼につながる」とのことでした。

総会開催日には総会案内の新聞広告を掲載し、その中で山梨県警本部・山梨損保会・山梨代協で「サイバー犯罪の現状と対策―官民連携で脅威から県民を守る」と題して対談を掲載しました。山梨県警生活安全部サイバー犯罪対策課長乙



役員オリエンテーション

黒大三氏、山梨損保会会長奥慶太氏、山梨代協副会長（現監事）小俣勝夫が巧妙かつ多様化するサイバー犯罪について、現状を共有するとともに、各業界が連携して対策を推進することの重要性を確認しました。

また、1月の保険会社との賀詞交歓会当日、山梨日日新聞に損害保険トータルプランナーの2面見開きの顔写真付き全面広告を掲載しました。契約者にとっては、担当してくれている募集人が最高峰の資格を持っていることを確認できるよい機会だと思っています。

出前講座・ほうさい探検隊・献血推進キャンペーン・山梨県地震防災シンポジウム・フードバンク募金の寄贈等、広報委員会を通じて新聞社に取材をお願いしています。

代協活動の原点は、支部活動だと思っています。山梨代協には、国中支部・郡内支部があり支部活動をより活発にするため代協の役員だけでなく、保険募集に携わっている方々にお集まりいただき、情報交換・意見交換を行う場所を提供したいと思っています。

山梨代協役員一同は、様々な関係機関と連携し、保険業界の発展に力を合わせ頑張っていきたいと思っています。